



変容の奇跡

シュリ サティヤ サイ ババのお陰で、私の人生はより幸せで、より意味深く、洞察力を増し、私の仕事は新しい挑戦や新しい視野や意味を持ち、より豊かなものになりました。「仕事は愛を目に見える形にしたものです」60年以上に亘って行動で示されたサイ ババの愛と奉仕は驚くべきものであり、異文化を持つ160カ国以上の国から来た帰依者たちを理解して導くサイ ババの取り組みは、驚きそのものです。これは、カナダのダルハウジー大学の経営学の教授であるヤシーン シャンカール博士が、『サナータナ サーラティ』2001年9月号に寄せた記事の抜粋です。

1978年4月1日、私はシュリ サティヤ サイ ババのことを知りました。この日、私は救急車で病院の救急病棟に運ばれました。私は専門家チームの診察を受け、一連の検査を受け、それらすべてにおいて不合格でした。自分の名前、電話番号、生年月日、職業、勤め先、専門分野、これらのどれにも私は答えることが出来ませんでした。私の意識は混濁しており、精神は混乱し、不安にかられていました。医師団は、神経機能障害との診断を下し、私は6ヶ月から1年間の入院が必要であると告げられました。

価値と倫理における新しい語彙…

夜中に、現実と時間と空間から切り離された状態の私は、ふさふさの髪の毛をしてオレンジ色の衣を着た人物が、庭園に私を連れて行き、数曲のバジャンを歌い、私の頭に触れる夢を見ました。

次の朝、専門家チームの医師団が来て、職業や電話番号などを私に質問し始めました。私はこれらの質問にすべて答え、なぜ、彼らがこのような単純な質問をするのか不思議に思いました。医師たちは私が正気であることに驚き、昨夜何が起ったのかを尋ねました。私は、自分の頭の中ではっきりしている夢のことを話しました。医師たちは、私が驚くべき回復を遂げたという結論に達しました。しかしながら、私は観察のため、2週間の入院が必要と診断されました。退院した後、私は夢に現れた人物が、シュリ サティヤ サイ ババであることを知りました。

私は、サイ ババの奇跡、地域社会に対するプロジェクト、ご講話など、彼に関するあらゆるものを読み始めました。そして、サイ ババの英知に大きな感銘を受けました。私の驚くべき回復よりも更に重要な第二の奇跡は、私の視野、労働倫理、そして行動の変容でした。私は、西洋社会ではトップクラスのマックギル大学、トロント大学、そしてジョン ホプキンス大学で勉強しましたが、人間的価値や倫理について学んだことはありませんでした。ですから教授になってからも、経営学の上でこのトピックスについて講義したことはありませんでした。それらは無意味であり、問題があり、主観的で、相対論的である等と思っていました。

サイ ババの教えを研究し始めたため、今では、私は価値と倫理について講義しており、私の書いたすべての本や論文や会議の議事録には、価値と倫理が注ぎ込まれています。価値と倫理についての新しい語彙が、頭と意識の中に入力されたのです。教育、モチベーション〔動機づけ〕、リーダーシップ、技術的变化における価値を基礎とした視点は、実に私の教育の中心であり、私はこれらをケンブリッジ大学、オックスフォード大学等に紹介して、好意的に受け入れられています。これは私の研究分野だけではなく、私の視点、目的、態度、真理に対する見解、価値、行動、生活態度、仕事に対する考え方、私の人格のすべての部分において、「変容」という奇跡を起こしました。

現在、私はストレスの対処法、人格、教育、価値、倫理、リーダーシップ等に関するシュリ サティヤ サイ ババの論理を、商業学の学士過程やMBA（経営学修士）のクラスで講義しており、中間試験では、学生の間でも人気のある

サイ ババの教えに関する質問も幾つか出しています。また、私は教育や経営者に関するサイ ババの革命的な定義について研究論文を書いており、今までにサイ ババの教えとその教えに対する学生たちの反応について、三冊の本を完成させました。

人間相互理解の橋を架ける

シュリ サティヤ サイ ババのお陰で、私の人生はより幸せで、より意味深く、洞察力を増し、私の仕事は新しい挑戦や新しい視野や意味を持ち、より豊かなものになりました。「仕事は愛を目に見える形にしたものです」60年以上に亘って行動で示されたサイ ババの愛と奉仕は驚くべきものであり、異文化を持つ160カ国以上の国から来た帰依者たちを理解して導くサイ ババの取り組みは、驚きそのものです。

私にとってこの変容の奇跡は、奇跡的な治癒や物質化などのサイ ババの他の奇跡よりももっとパワフルです。サイ ババが世界160カ国にもたらした、ヒンドゥー教やインド文化の偉大な霊的古典の復興は、インドを世界のための霊的、哲学的な灯台の地位につかせました。サイ ババによれば、この「情報」(インフォメーション)の時代に私たちが必要とするものは、これ以上の「情報」ではなく、「変容」(トランスフォーメーション)です。

「情報」を基盤とする知識は、人間を機械にします。一方、「変容」を基盤とする知識は、人間を『作者』にします。1トンの「情報」であっても、洞察力はゼロしか含まれていないかもしれません。幸せの邸宅は、アートマ(真我)と人格と道徳基準へと導く洞察力の上に建てられる、とサイ ババは言います。

シュリ サティヤ サイ ババは、人生の海を渡る私を導くために、道徳の基準を与えました。私はカナダでサイ ババの学生たちの多くに会いました。彼らは真に徳高い人格と、仕事に対する倫理と、卓越した人格を持つ宝石です。

私はインド出身ではありませんし、サイ ババと話したこともなく、インタビューに呼ばれたこともありません。私の先祖は150年前にインドを離れました。私はサイ ババをより良く知るため、特にサイ ババの教え、英知、愛、奉仕に対する理念、そしてサイ ババのカリスマ的人格をより良く知るため、彼のアシュラムを訪れました。人々の視野、ゴール、価値、人格、性格を変容

するサイ ババの力、アシュラムでの多様な宗教の一体化、この惑星、すなわち地球上のすべての文化を橋渡しする、人間相互理解の橋を架けるサイ ババの仕事、これらは実に驚嘆すべきものであり、素晴らしいものです。

サマスタ ローカー スキノー バヴァントウ

すべての世界のすべてのものが幸せでありますように

「プラシャーンティ レポーター」 2013年5月20日版より